



## ～ \* 飲み込みの検査の話 \* ～

最近、飲み込みにくくなった・・・ムセやすくなった・・・そんな話を聞いた事ありませんか？  
もしかしたら、食べる事・飲み込む事の障害・・・摂食 嚥下障害かもしれません。



### 摂食・嚥下障害の症状

問題がある部位によって症状は様々ですが、①飲み込むとむせる ②食べ物を嚥んで飲み込めない  
③食事に時間がかかる ④食べると疲れる ⑤食事中・食事後に声が変わる ⑥食べこぼしが多い  
⑦飲み込んだ後、口の中に食べ物が残っている などがあげられます。

<< この状態を放置しておくとおそれがあります >>

### 摂食・嚥下障害の原因

脳血管障害 \* 脳性麻痺 \* 認知症 \* パーキンソン病 \* 脳腫瘍 \* 外傷性脳損傷  
筋萎縮性側索硬化症 \* 薬剤 \* 歯牙喪失による咀嚼力低下 ...などがあります。

### 検査方法

\* 約3mmのカメラを鼻から挿入して検査をします。(時間は約15分ぐらい)

\* 持ち運びが出来るコンパクトな器械なので、お部屋のベット・車椅子でも検査ができます。



3mmのカメラを  
鼻から挿入

モニターにノドの  
状態が映ります

顔の中の状態

カメラは鼻から入れて  
ノドで止めます

ボールペンより  
細いカメラです

ご家族・ご本人と一緒にモニターを見て  
どこが問題なのか・・・先生からの説明を  
聞くことができます。  
ケアマネージャーさん・訪問看護師さん  
言語聴覚士さんが同席することもできます。

\* 検査結果によってはリハビリを行い改善することができます。

\* 既往歴・現病歴に認知症・脳血管障害がある人は検査費用が保険適用になります。



### <クリニックからのお知らせ>

食形態をアップしたい人、口から食べていないけど お楽しみで少し味わいたい人・・・など  
食事に関わる事なら どんな事でも気軽に相談してください。

